

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証 2025年度4期(東京, 福岡, 大阪)再評価試験のご案内

2025年12月22日
一般社団法人 日本溶接協会
建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会

WES 8110 及び WES 8111 (*) に基づき、型式認証された溶接ロボットを用いて建築鉄骨の製作を行う建築鉄骨ロボット溶接オペレータの再評価(更新)試験を次の要領で実施します。

保有資格の継続を希望する場合、新規登録又は再評価登録からサーベイランスを2回受けて6年を経過する前に、再評価試験を受けて合格しなければなりません。

再評価試験は、有効期限を迎える約5ヶ月前の再評価試験か又は約2ヶ月前の再評価試験のいずれかを受けて下さい(受験機会は1回です)。

今期の再評価試験を受けていただく対象者にご案内いたします。

なお、ご不明な点がございましたら、4.3項の申込み先にお問合せ下さい。

(*) WES 8110 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの技術検定における試験方法及び判定基準

WES 8111 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証基準

1. 今回(2025-4期)の再評価試験の受験対象者

以下の資格者が今回の再評価試験の受験対象者です。受験を希望される場合には申請期日までに必要書類を提出して下さい。

表1 2025年度4期の再評価試験の受験対象者

交付日又は更新日	サーベイランス②(2回目)	有効年月日
2020年05月01日	2024年05月01日	2026年04月30日
2020年08月01日	2024年08月01日	2026年07月31日

(備考) 今回の受験で合格して登録申請された適格性証明書の更新日は、現在保有する有効期限が2026年04月30日の方は05月01日付、2026年07月31日の方は2026年08月01日付となります。

2. 受験資格

- (1) 今回の申請日前2年間における保有資格の種別記号のロボット溶接操作100日以上の経験のある者。なお、複数資格(機種)を申請する場合の操作経験日数は、機種ごとに30日以上で、かつ全ての機種の合計が100日以上であること。
- (2) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの専門級受験者で、取得申請する資格の種別に対して同じ溶接姿勢のJIS Z 3841/WES 8241に基づく半自動溶接技能者の専門級資格を現有している場合は、原則として、ロボット溶接実技試験が免除されます(表4参照)。

3. 再評価試験の実施

3.1 試験日と開催地

期	コード	期 日	開催地	会 場	申請期限日
4	GK176	2026年02月14日(土)	東京	溶接会館 東京都千代田区神田佐久間町4-20 電話 03-5823-6325	2026年01月23日 (金)
	GK177	2026年02月15日(日)	東京	溶接会館 東京都千代田区神田佐久間町4-20 電話 03-5823-6325	
	GK178	2026年02月28日(土)	福岡	福岡商工会議所(博多) 福岡県福岡市博多区博多駅前2-9-28 電話 092-441-1116	
	GK179	2026年03月07日(土)	大阪	ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 電話 06-6302-5571	

(注1) 受験申請者が少ない場合(新規・再評価受験の合計で10名／1会場に満たない場合)は、当該会場での試験は中止になります。その場合、申込みされた方には事前に連絡します。

(注2) また、受験可能人数は東京会場60名、福岡会場各40名、大阪会場40名です(いずれも新規・再評価受験の合計数)。これを超えた場合は受験申請を受付けできません。

<なお、来年度の予定は次のとおりです。>

2026年度	コード	期 日	開催地	会 場	案内掲載	受付期間
1期	GK180	2026年5月30日(土)	東京	溶接会館	3月末	～4月 下旬
	GK181	2026年6月6日(土)	福岡	福岡商工会議所(博多)		
	GK182	2026年6月7日(日)	大阪	(未定)		
2期	GK183	2026年9月5日(土)	東京	溶接会館	6月末	～7月 下旬
	GK184	2026年9月6日(日)	大阪	(未定)		
3期	GK185	2026年11月14日(土)	福岡	福岡商工会議所(博多)	9月末	～10月 下旬
	GK186	2026年11月28日(土)	東京	溶接会館		
	GK187	2026年11月29日(日)	東京	溶接会館		
	GK188	2026年12月5日(土)	大阪	(未定)		
4期	GK189	2027年2月20日(土)	東京	溶接会館	12月末	～1月 下旬
	GK190	2027年2月21日(日)	東京	溶接会館		
	GK191	2027年2月27日(土)	北海道	(未定)		
	GK192	2027年3月6日(土)	大阪	(未定)		

3.2 再評価試験の実施内容について

再評価試験は、WES 8110及びWES 8111に基づき以下のとおり実施します。

- (1) 講 習 (09:30～12:05)
- (2) 口述試験 (12:30～17:00)(受験人数により終了時間は変わります)

4. 受験申請手続きについて

4.1 提出書類

(1) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ技術検定試験申込書(再評価)

(注 3) 顔写真は無帽、上半身で、最近6ヶ月以内に撮影したものを貼付して下さい。

(注 4) 申込書には、予めロボット型式認証番号が出力されていますので、ご確認下さい。もし、この番号に誤りがある場合には赤ペンで修正して下さい。

(2) 受験者の職務経歴証明書(再評価)

(注 5) 記入できる職務経歴の期間は、“申請日の2年前から申請日まで”です。

(注 6) 期間欄の日付(月)は、各行で重複しないようにして下さい。

<誤>

期間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023年 8月 (至)西暦 2023年 10月	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2023年 10月 (至)西暦 2023年 11月	CD-FN	//////////	20
(自)西暦 2023年 10月 (至)西暦 2023年 12月	CD-FN	++++++	40

<正>

期間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023年 8月 (至)西暦 2023年 10月	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2023年 11月 (至)西暦 2023年 11月	CD-FN	//////////	20
(自)西暦 2023年 12月 (至)西暦 2023年 12月	CD-FN	++++++	20

(注 7) 同一日に複数の工事又は複数の種別 (SD-FN, CD-FN 等) の操作を行っている場合は、いずれか一つの工事又は種別についてのみ、1日としてカウントできます。

- ある期間の経歴(年月)を記入した場合は、別の工事の経歴があっても、同じ期間の経歴を記入することはできません。
- 月での区別が難しい場合には、日につままで記入して明確に区別して下さい。

期間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023年 05月 (至)西暦 2023年 08月 10日	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2023年 08月 18日 (至)西暦 2023年 12月	CD-FN	//////////	50

(注 8) また、複数機種の場合、各々の機種の職務経歴書において、同じ期間の経歴を記入することはできません。

(3) 添付書類

下記①～④の書類は A4 サイズでコピーし、申請書1件ごとに添付して下さい。

- 現在保有している建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証の適格性証明書(表裏)のコピー
- 申請種別(専門級)と同じ姿勢の、現在保有している JIS 半自動溶接技能者適格性証明書(専門級)のコピー(基本級のみの方は必要ありません。)
- 申請する種別と同じ種別のロボットの型式認証書(日本ロボット工業会発行)のコピー

(注 9) ロボット型式認証書は合否判定日 (2026年3月17日)において有効期間内であり、附属書を含めて A4 サイズでコピーし、申請書1件ごとに添付して下さい。

※ロボット型式認証書の有効期限がサーベイランス判定日以前に切れる場合は、以下の対応をお願いします。

- 1) 現状のロボット型式認証書に「追って差し替える」旨を記した付箋等を貼付する。
- 2) 1)の認証書を申請書に添付して、申請する。
- 3) 新たなロボット型式認証書入手後、速やかに事務局へ送付する。
(この場合、どの受験者の申請書に添付するロボット型式認証書であるかわかるように送付ください。)

[建築鉄骨溶接ロボット型式についての注意事項]

(注 10) アークマン RON/MP の SDFN はロボット型式が 3 種類 (SDFN061, SDFN 067, SDFN 068) あり、入熱とパス間温度に差があります。したがって、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 は 1 つの受験申込書中に一緒に記載しないで下さい(一緒に記載した場合、口述試験において評価上の不都合が生じる場合があります)。どうしても必要な場合には、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 のそれぞれの申込書を作成(申込書 2 件作成)して下さい。なお、CDFN062 と CDFN069 の場合も同様です。

(注 11) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証においては、アークマンの RON/MP と MP は別機種扱いです〔石松の IR-700/900/100 と IR-700REG/900REG/100REG の場合、ARCMAN A60 の SDFN108・113 と SDFN115 (REGARC) 及び CDFN114 と CDFN116 (REGARC) の場合も同様です〕。

1 つの受験申込書に、アークマン RON/MP の型式認証書とアークマン MP の型式認証書と一緒に添付することはできません。アークマン RON/MP の型式とアークマン MP の型式の両方を適用する場合は、受験申込書も 2 つ(アークマン RON/MP とアークマン MP)作成して、提出して下さい(合格後の適格性証明書も、アークマン RON/MP とアークマン MP の 2 枚発行されます)。

なお、アークマン RON/MP の型式認証記号とアークマン MP の型式認証記号は下記のとおりです。機種追加申請書の書式は、一般社団法人 日本溶接協会のホームページからダウンロードください。

なお、アークマン RON/MP とアークマン MP の型式認証記号は下記のとおりです。

アークマン RON/MP の型式認証記号(下 7 桁のみ記載)

PPFS066
PPFF058
SDFN061, SDFN067, SDFN068
CDFN062, CDFN069
PPVS055
PPVF054
PPHS060
PPHF059

アークマン MP [パルスアーク溶接(メカ呼称 : REGARC)] の型式認証記号(下 7 桁のみ記載)

SDFN072
CDFN073

④ 受験料の銀行振込控のコピー(A4 用紙へ実物大コピー。拡大はしなくて結構です。)

(注 12) 記入した申請書と職務経歴証明書は、写真を貼り、本人及び所属長の印を押して、コピーをとった後、提出して下さい。申請書(職務経歴証明書等添付書類を含む)は必ず本人が内容を確認して下さい。なお、口述試験中に「申請書の内容は知らない。」、「事務方が勝手に書いた」など申請書

の内容を否定するような発言は申請書内容の虚実記載として、口述試験の取りやめ又は不合格とする場合があるので、ご注意ください。

＜お願い！＞ 提出書類については、必ず控えを保管して下さい。

＜お願い！＞再評価申請をしない場合には、メール又はファックス（メールアドレス等は4.3項を参照）にて、“該当の資格者の管理番号、氏名及び再評価申請しない旨（差し支えなければ、理由も含めて）”をご連絡下さい。

4.2 受験料及び振込先

(1) 再評価試験の受験料(消費税10%込み)は33,330円です。

(複数機種の再評価申請、機種追加を同時に申請する場合等も、受験料は合計で33,330円です。)

また、ロボット溶接実技試験受験者は、別途実技試験費用が必要です。

(2) 受験料の振込み先

三井住友銀行 神田駅前支店 普通預金No.1304625 一般社団法人 日本溶接協会

(注12) 振込手数料は、受験申請者の方でご負担願います。振込控のコピーを受験申込書に添付して下さい。振込控(写)がない場合は受付できません。

(3) インボイス対応領収書の発行について

新規受験料、再評価受験料、サーバイランス申請料、認証登録料の振込みに対するインボイス対応の電子領収書は当協会ホームページからダウンロードすることができます。

再評価受験の場合は、受験番号(例:GK167R01等)・氏名(カタカナ)・生年月日を入力することで、概ね12月末からダウンロードできます。

【(一社)日本溶接協会 登録番号:T5010005004461】

4.3 申し込み先

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20

(一社)日本溶接協会 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会 事務局(西村)

TEL.03-5823-6325 FAX.03-5823-5211 (E-mail:yoshihito_nishimura@jwes.or.jp)

4.4 受付期間と受験票の送付

表2に示す申請期限日までに提出書類を申込み先に提出して下さい。受験票は、試験日の約2週間前に勤務先(連絡先)に送付します。

5. 受験申し込み後、受験ができなくなった場合の対応方法について

5.1 受験の1週間前より前の場合

FAX又はEメール(書面に残る形)にて、事務局へ以下の項目を記載の上、ご連絡ください。

1. 受験を延期したい旨 又は 受験を取りやめたい旨の記載
2. 受験番号、受験者氏名
3. 受験を延期したい場合は次回受験予定期日
4. 会社名、連絡先の担当者氏名、電話番号

本手続きにより受験を取りやめる場合は、手数料を引いて受験料金は返金します。受験を延期する場合は、受験料は次回受験に引き継ぎます。返金の手続き方法については、事務局より別途ご案内申し上げます。

5.2 受験の1週間前から前日までの場合

まずは、電話にて、事務局にご連絡ください。その後、FAX又はEメール(書面に残る形)

にて、事務局へ以下の項目を記載の上、ご連絡ください。

1. 受験を延期したい旨 又は 受験を取りやめたい旨の記載
2. 受験番号、受験者氏名
3. 受験を延期又は取りやめたい理由
4. 受験を延期したい場合は次回受験予定期日
5. 会社名、連絡先の担当者氏名、電話番号

ご申告いただいた理由によっては認証・評価委員会での承認が必要となります。承認が得られた場合で受験を取りやめる場合は、手数料を引いて受験料金は返金します。受験を延期する場合は、受験料は次回受験に引き継ぎます。返金の手続き方法については、事務局より別途ご案内申し上げます。

6. 当日、遅刻しそうな場合は、受験票記載の携帯番号へご連絡いただき、事務局の指示に従ってください。

7. 資格認証の範囲他

資格認証の範囲は、表3のとおりです。また、ロボット溶接実技試験の免除となる半自動溶接技能者の専門級資格は、表4のとおりです。

表3 資格認証の範囲

(WES 8111 「建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証基準」から)

級別	種別記号	継手の区分	溶接姿勢	エンドタブの種類
基本級	PP-FS	H形鋼柱と梁フランジ 溶接組立箱形断面柱と梁フランジ 十字柱と梁フランジ	下向(F)	スチールタブ
	PP-FF	H形鋼柱と通しダイアフラム 十字柱と通しダイアフラム 通しダイアフラムと梁フランジ		スチールタブ、代替タブ
	SD-FN	角形鋼管柱と通しダイアフラム 角形鋼管柱と角形鋼管柱		なし
	CD-FN	円形鋼管柱と通しダイアフラム 円形鋼管柱と円形鋼管柱		なし
専門級	PP-VS	H形鋼柱と梁フランジ	立向(V)	スチールタブ
	PP-VF	溶接組立箱形断面柱と梁フランジ		スチールタブ、代替タブ
	PP-HS	十字柱と梁フランジ	横向(H)	スチールタブ
	PP-HF	通しダイアフラムと梁フランジ		スチールタブ、代替タブ
	SS-HA	角形鋼管柱と角形鋼管柱	横向(H)	なし
	SS-HN	角形鋼管柱と通しダイアフラム		なし
	CC-HA	円形鋼管柱と円形鋼管柱		スチールタブ
	CC-HN	円形鋼管柱と通しダイアフラム		スチールタブ、代替タブ
	HH-HS	H形鋼柱とH形鋼柱	BB-HC	コーナタブ
	HH-HF	H形鋼柱と通しダイアフラム		なし
	BB-HC	溶接組立箱形断面柱と溶接組立箱形断面柱		スチールタブ
	BB-HN	溶接組立箱形断面柱と通しダイアフラム		スチールタブ、代替タブ

(次ページへ続く)

**表4 ロボット溶接実技試験の免除条件となる
JIS Z 3841 / WES 8241に基づく半自動溶接技能者の専門級資格**

専門級申請資格の種類		JIS Z 3841 / WES 8241に基づく 半自動溶接技能者の専門級資格
継手の区分	種別記号	
通しダイアフラムと梁フランジ 柱と梁フランジ	PP-VS	SA-2V,SA-3V,SN-2V,SN-3V のいずれか
	PP-VF	
	PP-HS	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
	PP-HF	
角形鋼管柱と角形鋼管柱	SS-HA	—
	SS-HN	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
円形鋼管柱と円形鋼管柱	CC-HA	—
	CC-HN	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
H形鋼柱とH形鋼柱	HH-HS	
	HH-HF	
溶接組立箱形断面柱と 溶接組立箱形断面柱	BB-HC	
	BB-HN	

《参考》その後の対応と手続きについて

6. 試験結果の発表

試験結果(合否)については、勤務先(連絡先)宛に合否通知書を郵送します。電話等による照会には応じられません。

合格された方には、合格通知書と一緒に登録申請書を送付します。資格の登録には登録申請の手続きが必要で、登録料(認証料)を振込みの上、指定された期限までに申請して下さい。

7. 適格性証明書の交付

登録申請書の受領後、所定の建築鉄骨ロボット溶接オペレータ適格性証明書が交付されます。交付日(更新日)は、表1の備考に示したとおりです。

8. 再評価試験後の資格継続について

8.1 認証の有効期間

資格認証の有効期間は、更新日より2年間です。

8.2 サーベイランス

資格更新後2年を経過する前に、その間に従事したロボット溶接の業務のサーベイランスを受けて合格すれば、認証の有効期間を2年間延長した適格性証明書が交付されます。

サーベイランスは、2回まで受けることができます(延べ有効期間は最大6年です)。

8.3 再評価

資格の登録後6年を経過する前(サーベイランスを2回受けてから更に2年を経過する前)に、資格の更新を希望する場合は、再評価試験を受けなければなりません。

8.4 サーベイランス案内、再評価案内が届かなかった場合

サーベイランス案内、再評価案内が届かなかった場合、至急、事務局へご連絡ください。案内が届かなかった場合でも、資格の有効期限直前の受験日(サーベイランスはサーベイランス審査日)で受験が出来なかった場合は、原則、その資格はその有効期限で失効します。資格の有効期限管理は、資格保持者と資格保持者の所属する企業様の責任でお願いします。

以上

再評価申請書 提出前チェックシート

申請書類を提出（封筒に入れる）前に以下の項目について再度確認をお願いします。
(本シートは提出不要です。)

(1)申請書

- 申請日（日付）は書かれていますか？
- 受験者の押印はありますか？
- 受験者の氏名（漢字表記含む）、生年月日、所属部課に間違いはないですか？
- 勤務先の名称、フリガナ、所在地、連絡先(TEL,FAX,氏名,所属部課)に間違いはないですか？
- 現有資格の表記に間違いはありませんか？（適格性証明書番号、交付年月日、有効年月日、種別記号）
- 希望する試験日のコード No.に○をつけていますか？
- 申請する種別記号の番号に○をつけていますか？
- ロボット型式認証番号の下 7 桁(PPFF072 等)に間違いはないですか？
- ロボットメーカ、ロボット機種に間違いはないですか？
- 専門級を申請する場合、現有の資格 JISZ3841 専門級の欄に記載(SA-2V, SA-3H 等)していますか？

(2)受験者の職務経歴証明書(再評価)

- 再評価申請日を記入していますか？
- 受験者の氏名、適格性証明書の番号と交付日、有効年月日に間違いはないですか？
- 受験者氏名欄の押印はありますか？
- 従事業務に期間に重複はありませんか？
- 期間は申請日前の 2 年以内ですか？
- 種別記号(PP-FS, SD-FN 等)は書かれていますか？
- ロボット操作日数は合計で 100 日を超えてますか？（複数の機種を受験する場合は、それぞれ 30 日以上、現有資格の操作日数含め、合計で 100 日以上の操作経歴が必要です。）
- 最下段の証明欄に会社名・所属肩書・所属長の氏名・押印がありますか？

(3)添付書類

- 現有資格のコピーを添付していますか？
- 専門級を申請する場合、専門級と同じ姿勢の半自動溶接の適格性証明書のコピーは添付していますか？
- 申請する種別に該当するロボット型式認証書のコピーを添付していますか？
 - 認証書は 2026 年 3 月 17 日において有効ですか？
 - 認証書の付属書のコピーも添付していますか？
- 銀行振込控えのコピーは添付されていますか？(※)
※ 複数名の複数の申請をまとめて振り込んでいただいてよいですが、その場合、控えのコピーの余白部に該当者の氏名、当該申請の金額を記入し、それぞれの申請書にそのコピーを添付ください。

以上